

## 1-2-10 県指定・東山神明神社絵馬殿

〈県指定〉昭和 39 年 12 月 8 日

〈所有者〉東山神明神社

〈所在地〉天性寺町 71 番地

〈時代〉江戸時代（17 世紀）

〈員数〉1 棟、4 面

絵馬殿（1 棟）桁行 6.32m、梁間 4.25m、単層寄棟造、銅板葺、4 方吹抜け、廻縁親柱高欄付  
絵馬額（4 面）墨絵一部彩色、正保 2 年（1645）の願文があるもの、明暦元年（1655）のもの、延宝 2 年（1674）のもの、天和 2 年（1682）の陵王舞楽絵

もと高山城内の月見殿であったが、元禄 8 年（1695）高山城破却の際に移築された建物だと伝えられる。この建物には金森藩政時代の絵馬額 4 面が残されている。最も古い額には「奉掛御宝前絵馬 自高山城 正保二乙酉歳八月吉日信心願主敬白」とあるが、これらの絵馬額はこの建物が移築される以前から神明神社の社殿に掲げられていたものと考えられる。昭和 54 年 2 月 6 日、隣のモミの木が折れて屋根を大きく破損した。修理の際、カラー鉄板葺を銅板葺に変えている。

構造は 4 方吹抜で壁のない空間に大きな面取りをした太い角柱が立つ。角柱頭部には美しい曲線を持つ舟形の肘木<sup>ひじき</sup>が深い軒をがっしりと受け止め、雪国にふさわしい極めて力強い手法である。建物全体が低く、屋根は緩やかな勾配を持ち、市内のどの神社建築にも見られぬ優雅さと古さを強調している。

### 参考文献

『高山の文化財』28 頁 高山市教育委員会発行 平成 6 年